

令和5年度第11回沼田市教育委員会会議録

1 期日

令和6年2月20日（火）

2 場所

テラス沼田庁議室

3 出席者

竹之内篤教育長、中村春夫委員、永井和恵委員、武藤英子委員、長谷川清委員

4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者

北澤昇教育部長、角田紀男教育総務課長、林武史学校教育課長、小野利明生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、生方純也スポーツ振興課長、栞原満博教育総務課長補佐

5 開会宣言（午前10時25分）

6 会議録の承認

7 日程第1 会期の決定

会期は、2月20日の一日と決定

8 日程第2 会議録署名委員の指名

教育長が永井和恵委員を指名

9 日程第3 教育長報告

（教育長）

教育委員の皆様には、2月に社会教育功労者表彰式及び生涯学習講演会に出席いただき、感謝申し上げます。今後も、本日午後の教育研究所の修了式・成果発表会、学校経営ヒアリング等でお世話になる。今年度も残すところ1か月余りとなり、事務局では、今年度のまとめと来年度の準備に取り組んでいるところである。委員の皆様のご指導をいただきながら進めていきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

2月の定例校長会の指示伝達事項について報告したい。

○教育課程管理について

- ・学力向上に向けて、現時点で分かっていないこと、できていないこと、覚えていないこと、これらをはっきりとさせ、その上で当該学年で身に付け

させるべき内容を定着させていくこと。

- ・振り返り学習、補充学習、家庭学習を組み合わせ、本年度の最後の最後までしっかり教えて、次の担当者へ引き継ぐこと。
- ・部活動の位置付けは教育課程外とされているが、学校の教育活動の一環として教育課程との関連を図っていくこととされていることから、学校教育課・生涯学習課・スポーツ振興課とも連携しながら、取組の趣旨や来年度からの取組について、自校の教職員に周知を図るとともに、自校の状況に応じた地域展開を推進していくこと

○生徒指導の充実について

- ・児童生徒への対応として、共感的な理解、自己決定の場の設定、共感的・支持的な学級の雰囲気づくりを大事にしていくこと。
- ・教師の基盤として、子供への愛情、教師としての誇りと信念、児童生徒の今の状況に合った援助・指導を心掛けること。
- ・保護者対応として、「この子のために」を貫くこと、懷を広く深く受け止めることを心掛けて対応すること。

○人事管理について

- ・年度末人事に向けて、迅速な報告・連絡・相談を心掛けること。
- ・校内人事においても学校の教育課題の解決、教育力の向上、適材適所・公正公平の人事目的を基本に置くこと。

(中村委員)

2月3日開催の「ぐんま教育フェスタ」に教育長や学校教育課長等と参加した。講演会では、明治大学の齋藤先生のパワフルな講演に圧倒された。長期研修者の研究発表として、白沢中学校の美術の南雲先生の発表があった。美術や技術は専門外の先生が教える場合があるが、おしゃべりや雑談をしながら、どうやって進めたらいいか、どういったやり方があるか等、先生方と意思疎通を図る上で役立つ内容だった。授業時間数が少ない先生に広がればいいと思った。また、2月16日に県のスポーツ推進審議会に出席した。2029年に群馬県で開催される国スポだが、イメージが弱くて浸透しておらず苦慮しているようだった。地域や行政に広めてもらいながら、スムーズに開催できると良い。沼田市もフェンシングの会場となっている。大変だろうがよろしく願いたい。

(スポーツ振興課長)

国スポに向けた準備は既に始まっており、今年度、日本フェンシング協会の専務理事と県会長及び第83回国民スポーツ大会県準備委員会が、市民体育館の視察に訪れたところである。

(永井委員)

生涯学習講演会は、会場の広さがちょうど良く、講師の天達さんの人柄がにじみ出ており、良い講演会だった。また、市長が話したとおり、外国人が高齢者施設等で働くなど、増えていると感じている。地域に溶け込んでフレンドリーな方もいるので、沼田市の国際化が進んでも構わないと思う。

(武藤委員)

池田地区コミュニティセンターで開催された、熊に関する講演会に参加した。

熊が通学路に出没することについて心配する声があった。草等の刈り込みを広くすると、熊との距離も広がって被害が少なくなると話していた。熊を知ることは自分の身を守ることにつながる。滝坂で笹が茂っている箇所があり、正規の通学路かどうか不明だが、子供たちが歩いているので安全が確保されると良い。

(長谷川委員)

生涯学習講演会の天達さんの講演はためになった。20年後の気温上昇を防ぐには、森林の植林が大事なので頑張ってもらいたい。また、11日に新聞報道があった「ぬまた未来創造学」の反響も大きかったので頑張ってもらいたい。

(学校教育課長)

「ぬまた未来創造学」は、自分宛てに寄せられる声も大きい。幼稚園の先生からも、体験的な学びを地域とたくさんできると喜ばれた。従来の枠組みにとらわれず、沼田の未来を創っていく意識を子供たちに持たせられるような教育を、学校と相談しながら推進していきたい。

(教育部長)

まず、管内小中学校のインフルエンザ等の情報について報告する。先週、池田小学校で学年閉鎖があったが今週は解消している。沼田小学校では今日から木曜日まで学級閉鎖となっている。新型コロナウイルスの感染者は多くないが、インフルエンザが多めとなっているので、今後も感染対策に努めてまいりたい。

次に、沼田ジオパークの認定に向けた学習会の立ち上げについて報告する。ジオパークを簡単に言うと、沼田市を地質や地形を生かしたテーマパークにしようということである。県内では下仁田と浅間が認定されている。ジオパークを推進することで、沼田市の魅力を再発見できると考えており、森林文化都市への取組や、ぬまた未来創造学にもつながるものである。今回、様々な分野から幅広く情報を収集するため、職員による学習会を設置し、ジオパーク設置に向けた取組を開始したところである。おおむね令和7年度の認定を目指し、取組を進めているところである。

・ 次回開催日

次回開催を、教職員人事関係を令和6年3月21日(木)頃、さらに、市職員人事関係と定例の会議を令和6年3月22日(金)頃に予定

(教育総務課長)

- ・ 3月定例市議会付議予定事件(補正予算要求概要)について
- ・ 第2回沼田市学校再編に関するアンケート結果(全体版)について
- ・ 3月の主な行事予定について
- ・ 令和6年度教育委員会開催年間スケジュールの変更について
- ・ 令和6年度沼田市教育行政方針(案)について
- ・ 令和6年度沼田市人権教育推進方針(案)について

(長谷川委員)

コミュニティスクールについて、具体的に説明願いたい。

(生涯学習課長)

コミュニティスクールは、学校運営協議会を設置した学校のことであり、従来の学校評議員会のような学校の運営に対して評価する組織とは異なり、地域と学校が共に学校づくり地域づくりをするということで、学校運営に対して意見を言える組織である。今年度からモデル校として9校に導入し、令和6年度からは全校に設置される。これに伴って、各学校区に地域学校協働推進本部が設置されるが、これは、従来は学社連携で授業のお手伝い等をしてきたものを地域の得意分野を生かして地域と学校が連携・協働して様々な活動を行うことにより、地域も元気になる取組をしていこうというものである。また、併せて、学校と地域をつなぐ推進員が学校運営協議会の委員となり、橋渡し役となる活動をしていただき、学校を核とした地域づくり、地域とともにある学校づくりを進めていく制度である。

(学校教育課長)

- ・ 3月定例会市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 卒業式、入園式について
- ・ 沼田市いじめ防止子ども会議について

(生涯学習課長)

- ・ 3月定例会市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 団体活動発表会の結果について
- ・ 社会教育功労者等表彰式及び生涯学習講演会の結果について

(文化財保護課長)

- ・ 3月定例会市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 3月定例会市議会付議予定事件（旧久米家住宅洋館の設置及び管理に関する条例の制定）について
- ・ 旧久米家住宅洋館完成記念式典及び関連行事の開催について
- ・ 歴史資料館ロビー展について

(スポーツ振興課長)

- ・ 3月定例会市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 第62回群馬県都市対抗スケート競技大会の結果について
- ・ 第39回沼田市民インドアソフトテニス大会の結果について

10 日程第4 議案第16号 教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条に規定する内容を追加するため、教育長に対する事務委任規則の一部改正について議決を求めるもの

教育総務課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

- 11 日程第5 議案第17号 沼田市立図書館設置条例施行規則の一部を改正する規則について

現在の利用状況に応じた開館時間へ変更し、利用者が集中する時間帯の増員等によってサービスの充実を図るため、沼田市立図書館設置条例施行規則の一部改正について議決を求めるもの

生涯学習課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

- 12 閉会宣言（午前11時33分）